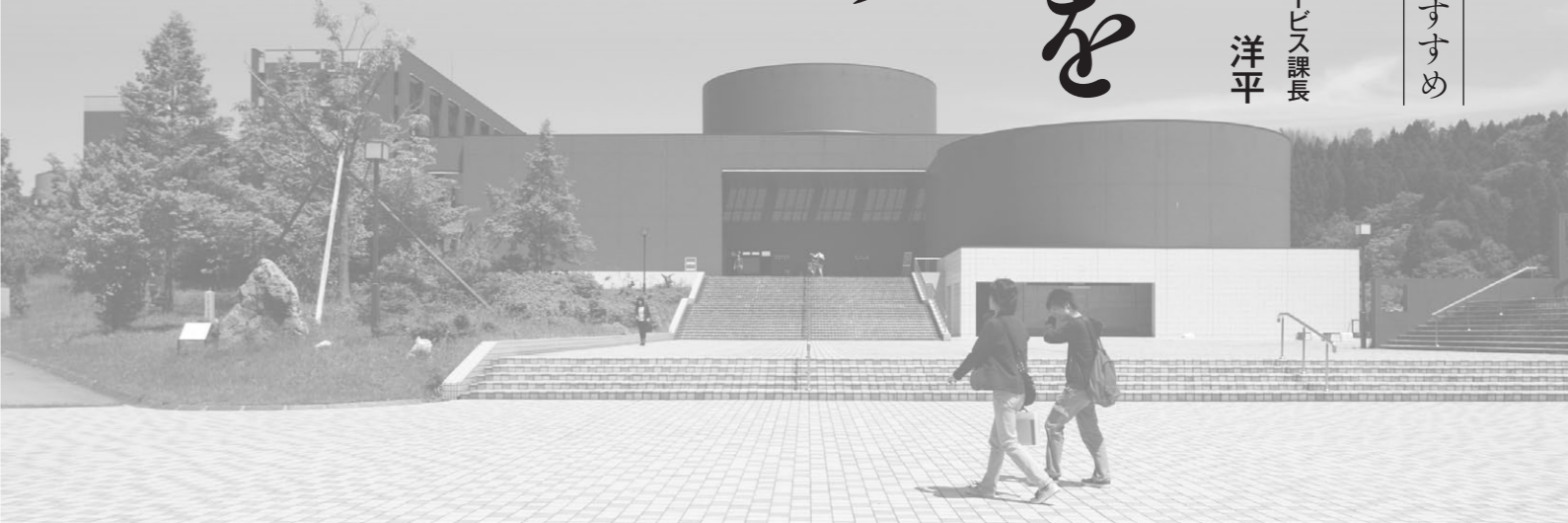


金沢大学

金沢大学
情報部情報サービス課長

橋 洋平

中央図書館を 使ってみよう



「コロナ禍中のストレス」と 図書館利用のすすめ

オンライン情報の過多による疲労感、その一方で孤立感、そして、学習や学生生活に関する不安……本誌バックナンバーに掲載されているインタビュー記事を読み、長期化するコロナ禍の中、学生の皆さんが、これまでになかったような悩みや不安に取り囲まれていることが分かりました。この1年半で、「オンライン〇〇」がすっかり浸透し、「ほぼ何でもオンラインでOK」という感覚が定着する一方、早送りや動画教材を視聴し、課題に追われ、クラスメイトと気軽に接触できず、何となく大学での学習に手応えを持たないといった姿も想像できます。

今年10月以降、状況は改善しつつあるとはいえ、こういった「よく分からないストレス」に覆われた今だからこそ、図書館という場所には色々なメリットがあります。「金大生の皆さんにとって、いちばん身近な図書館、金大中央図書館を使ってみませんか」というのが、本稿での私からのメッセージです。

場としての 図書館の活用法

コロナ禍の中、場としての図書館には、特に次の方にメリットがあると考えます。

- ✓ オンライン疲れの方
- ✓ 何となく孤立感を持っている方
- ✓ 大学での学習に不安を感じている方

そのメリットと活用法について、もう少し具体的に紹介しましょう。

任の教員やLiLAが英語レポートライティングに関する相談に乗る、附属図書館ライティングセンターが活動を開始しています。英語で書くレポートだけでなく、英語によるプレゼン、英語で提出する課題がある方は、お気軽にご利用ください。

*

ここまで紹介したような活用法に限らず、自分のペースで色々なスタイルで利用できるのが図書館の良いところです。ここでは、あえて触れませんでした、もちろん、図書館Webサイトから、電子書籍、電子ジャーナル、データベースなどを利用することもできます。これからは、リアルな場とオンラインとが融合した図書館利用が定着していくことでしょう。コロナ禍はもうしばらく続くようです。色々なストレスに負けないためにも、図書館利用を皆さんの学生生活のルーティンの中に組み込んでみませんか。

活用法1 オンライン疲れの あなたに……

「若者の読書離れ」という言葉は、いつの時代にも言われています。が、活字を読んでいるという点では正反対です。多くの人がSNS、Web、メールなど、絶えず送られてくるオンラインの文字情報に接し続けているのが現代です。この状況に人間の脳が対応しきれないことを述べたアンデシュ・ハンセン著『スマホ脳』という2021年いちばんのベストセラーでは、その対策として「毎日の軽い運動」を挙げています。このことが図書館利用にも応用できます。

オンラインの世界に疲れた後、中央図書館の書架をひとめぐりしてみませんか。軽い運動になります。新着図書や新着雑誌をチェックした後、自分の関心のある分野の書架のみをチェックするのも良いと思います。閲覧カウンター前では、教員おすすめ図書の展示を常時行っており、オンライン検索で情報をピンポイントで探すのとは違った、思わぬ出会いや刺激があります。こういう偶然の出会いをセレンディピティといいます。デジタルデトックス(ネット断ち)をしながらのセレンディピティ。これが図書館という場のいちばんのメリットだと思います。

もつと未知の情報に出合いたいという方には……地階書庫に入ってみるのもおすすめです。閲覧カウンターで学生証を提示してもらった後、入庫票を受け取り、階段を降りていくと、そこには違った空気が漂い、開架書架とは違った風景が広

がっています。さらには、角間南キャンパスの自然科学系図書館、宝町キャンパスの医学図書館など、中央図書館より規模の小さい各専門分野に特化した図書館もあります。

活用法2 何となく孤立感を 持っているあなたに……

図書館には「知」を媒介として色々な人が集まっています。授業の合間に静かに学習をしている人、卒論のための文献収集をしている人、資格試験の勉強をしている人、友人とグループで学習している人……目的は違っても、「知」という大きな傘の下で知らない人同士が薄くつながっている場所が図書館です。図書館入口横にある「ほん和かふえ」は、飲食・会話・息抜きのための空間ですが、そういう場所からでも、思わぬ知的な刺激を得られることがあります。

中央図書館にはガラ



ス張りのスペースが多
いことにお気づきでしょうか?これは会話可能な空間と静寂空間を分けるための壁であると同時に、読書や学習をしているお互いの姿を見せるための窓でもあり、オープンスタジオや国際交流スタジオなどのガラス張りのグループ学習用スペースでは、English Hourといった留学生と

の英会話イベントを行ったり、図書館の利用法や情報検索についてのセミナーを行ったりすることもあります。図書館学生ボランティア「とぼら」のメンバーによる読書会といった、学生自身による企画もあります。他の学生が色々な形で活動している様子を横目に見ながら、自宅で学習するのは一味違った軽い緊張感の中で自学自習できるのが図書館です。

活用法3 大学での学習に不安を 感じているあなたに……

図書館といえば、学習や研究に役立つ図書や雑誌を提供するだけの場、と考えられがちですが、近年は、授業外での学習を充実させるための場としての役割が期待されています。金大中央図書館でも、自学自習の場の提供に加え、ライブラリー・ラーニング・アドバイザー(LiLA)の先輩学生・大学院生が、皆さんからの学習相談に乗るサービスを3階ボラリススタジオで行なっています。日常の学習アカデミックスキル(レポートの書き方、プレゼンの仕方、Word、Excelの使い方)や理系基礎科目についての質問に加え、LiLAの留学生メンバーと気軽に外国語会話をすることもできます(曜日によって内容は違うので詳細はWebサイトで確認してください)。

また、今年度からは、同じ部屋で、専

DATA

金沢市角間町
金沢大学附属図書館
問い合わせ：中央図書館係
etsuran@adm.kanazawa-u.ac.jp
076-264-5211



開館日・時間は
Webサイトで
ご確認ください。→
<https://library.kanazawa-u.ac.jp/>